



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN
佐土原ロータリークラブ週報



第722回 平成13年12月26日(水)

〔本日のプログラム〕

2001~2002年度 国際ロータリーのテーマ

- | | |
|------------|---------|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. ローターソング | |
| | 「奉仕の理想」 |
| 3. 食 | 事 |
| 4. 会長の時 | 間 |
| 5. 幹事報 | 告 |
| 6. 委員会報 | 告 |
| 7. 点 | 鐘 |

- 次回予告
- ★ 1月 2日(水)
特別休会

 - ★ 1月 9日(水)
新年家族懇親会

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日 (12:30~13:30)	会長	吉田康一郎
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	宮原 建樹
事務局	宮崎郡佐土原町大字下那珂3887-17	幹事	岩下 廣美
	☎880-0212	会計	垂水 敏雄
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員	池田 仁志

第 7 2 1 回例会記録

(2001. 12. 19)

☆会長の時間

会長 吉田 康一郎 君

皆様今日は。

本日は第721回の例会です。

始めにビジターのご紹介を致します。
前期ガバナー補佐をされた、西都RCの尾崎公男君です。現在、西都商工会議所会頭を勤められ、お忙しい毎日とお伺いしております。

本日はお出で頂きまして、ありがとうございます。

地球温暖化が叫ばれて久しいのですがここ2、3日寒い日が続いております。

先日の17日(月曜日)北日本では大雪になっておりまして、さすが南国の宮崎も今にも雪になりそうな雨が降ってありました。

その中で私はゴルフだったのですが、大好きなゴルフと言えども雨の中のゴルフは大変でした。お金を払ってヘトヘトになって私は一体何をしているんだろう...と思いましたが、スコアはまあまあで、好きなスポーツはストレス発散になるようで、なかなかやめられません。

さて、今年も残すところ、僅か12日になってしまいました。

毎年のことながら年末にさしかかって気は焦り、仕事は片付かずで、中々一年間を締めくくる最後の月にさせてくれませんが、何とか悔いのない12月になるように努力をして、新しい年を迎えたいものと考えております

先日、車を販売したお客にお聞きした話ですが、10年前(H.3年)郵便局に元金200万円預けられ、満期10年が来て、受け取ったのは310万円、私が車代として頂くのが90万円位でしたので、利息でお釣りが来たわけで、大変喜んでおられました。私もその当時なら、割と車の販売も良い時期でしたので、先見の目を持っていれば預金など財産作りが出来たのでしょうか、何しろ預金をするような性格を持ち合わせておりませんでしたので、こんな利率のよい預金に巡りあわなかったのだらうと、お客の嬉しい話を伺ってすこぶる反省の念にかられました。

これからはもう少し、色々な事を勉強(?)しながら、余裕のある生活をしていきたい...と切に思った次第であります。。

取り留めのない話になりましたが、会長の時間を終わります。

☆幹事報告

幹事 岩下 廣美 君

1. 例会変更及び休会通知

①H.14年1月2日(水)は正月の為、休会

〃 1月16日(水)は新年家族例会の為、時間 6:30~に変更

小林 RC

②H.14年1月1日(火)は正月の為、休会

〃 1月8日(火)は新年会の為、時間 7:00~に変更

西都 RC

会長からもありましたように、今日はあとで、今年入会の方々に3分間スピーチをお願いしたいと思います。

☆出席報告

委員長 太田 忍 君

会 員 数	29名
例会出席者	22名
出席率	76%
マークアップ者数	1名
修正出席率	79%
欠席者名	神宮寺、宮本、藤田、後藤。

☆社会奉仕委員会

委員長 中武 幹 雄 君

社会奉仕賞（1月16日贈呈の予定）が決定致しました。

12月14日（金）14:00 副会長の宮原建樹君、私、副委員長の堀口英秋君の3名で受賞予定のホンダロック労働組合に面談して参りました。始めはそのような賞を頂くような活動ではないとの事で、受賞を固辞されましたが、こちらの意向を伝えまして、喜んで受諾して頂きました。以下、活動の概要をお知らせ致します。

15年前からホンダロック会社全体の取り組みで、会社入口及び周囲の信号のあ。る交差点において、小学校、中学校、高校生の登校時、雨の日も風の日も毎日、交通指導をしている。会社員（650名）全員で15名ずつの班員で取り組み。一人が年2回参加することになる。永年継続して活動を行う事はなかなか出

来ないことであり、何よりも一部の人々ではなく、会社全体で取り組んでおられることに意義があり、これこそ地域に密着した素晴らしい活動であり、ロータリーの社会奉仕賞に値するものと確信し、この団体に決定致しました。

贈呈式は1月16日（水）の例会で行います。受賞団体の代表として、2名の方に出席して頂き、宮崎日々新聞社、町広報のマスコミ関係者も招聘したいと思います。

☆情報委員会

委員長 林 厚 雄 君

奉仕の理想

ロータリーは奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する。

「奉仕の理想とは他人のことを思いやり、他人の役立とうとすること」と定義されています。

他人への思いやりと助け合い、すなわち我々個人が、この精神を身に付けることの修練の場がロータリーの、クラブ、職業、社会、国際のそれぞれの奉仕の場である。

ロータリーの定款や細則を読むくらい味気ないものはない。

しかし、90数年の間に、4人から始めた組織を100万人を超す偉大な組織に作りあげた、多くの先賢の経験と知恵の積み重ねだと理解すれば、その中に秘められた壮大なエネルギーを感じ取ることができる。

ロータリーが生々発展を続けていくた

めには、ロータリアン一人一人がロータリーを十分理解し、その知識を活用したロータリー活動を行い、また実生活にも活かしていくことが必要である。

ロータリーは親睦から始まった。

ロータリーでは例会出席が絶対条件である。

運営面でもクラブ奉仕関係者が3分の2を占め、会計面でも食事を含めて例会関係の予算が3分の2以上を占めている。

ロータリーは一業種一会員で気が許せる。安心して親睦が進められ、学び会、磨き合いとなる。出席と会費納入でロータリーは存続し、発展する。

例会を基盤として、親睦は生まれ、喜びと楽しさにあふれた会員相互の心に奉仕の理想が芽生え育ちます。そして職業奉仕から国際奉仕までに成長します。

(バスターガナー 辻氏著より)

【ロータリーの十徳】

(京都RC 元会長 西村 大治郎 氏)

ロータリアンは

- ①視野が広がる
- ②行儀が良くなる
- ③人柄が謙虚になる
- ④顔がきれいになる
- ⑤仕事が几帳面になる
- ⑥社交的になる
- ⑦話題が豊富になる
- ⑧話術が上手になる
- ⑨童心にかえる
- ⑩良い友達に恵まれる

以上は氏の言葉です。

それは要するに『良い人を作る』ことではないでしょうか。



Happy Voice

結婚記念20回目を迎えることが出来ました。お互いに健康を気遣い、これからもロータリーに、仕事に、頑張りたいと思います。

お祝い本当に有り難う御座いました。

藤堂 孝一

真由美

今年もお陰様で、無事に誕生日を迎えさせていただきました。記念品をどうも有り難うございました。

佐土原ロータリークラブの今後のご発展を念じております。

岩切 純子

